

札幌市北区篠路

五稜会病院 広報誌第60号
平成30年晩秋～平成30年冬



11月20日には初雪が降りました。例年よりも随分と遅い雪です。これから冬本番。風邪も流行ってきます。年末年始、お忙しい中、お身体に御自愛下さい。

平成30年の五稜会病院と社会情勢

平成30年度（1月～12月）もう終わりになります。例年、病院の忘年会で診療実績と1年間どんなことがあったのかを振り返っています。今年の10大ニュースは何があったのでしょうか。一番は、9月6日の北海道胆振東部地震とそれに引き続いての前代未聞、史上初のブラックアウトでしょうか。前日の台風21号による停電もあって、3日連続の停電を経験した方も多かったと思います。停電時は病院では断水になりますし、エレベーターも動きません。職員総出で2階、3階の病棟まで配膳リレーをしました。水の運搬も至極大変な労力でした。日頃の停電時の備えが大事であることを痛感しました。備えあれば憂いなしです。

地震の影響で、9月9日の公認心理師の国家試験が北海道では開催されず12月16日に延期になりました。当院では数名が受験する予定です。

医療法人社団五稜会病院理事長：中島公博

五稜会病院の理念

情熱と個々への配慮

- 1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
- 2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切に医療を行う。
- 3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
- 4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

学会・研究発表

五稜会病院では、最新の医療を提供出来るように、日々研鑽し努力しております。今年も例年通り、札幌市病院学会、北海道病院学会、日本精神科医学会学術大会などの地方会、全国学会、研究会へ積極的に参加しています。

最近の学会・会議での発表

平成30年10月24日

★北海道精神科病院協会事務長会議

「9. 6北海道胆振東部地震対応状況」 田中倉一

平成30年10月26日

★第44回日本認知・行動療法学会（東京）

「ストレスへの認知行動的対処方略の変化はストレスチェックの判定に影響を及ぼすか」 中村亨

平成30年11月11日

★第22回看護総合化学研究会学術集会

「他職種・地域と顔のみえる連携」 松岡みずほ

平成30年11月23日

★プラスワホ 合同会社

「トラウマの治療に効くコンパニオンフォーカストセラピー」 広瀬慎一

平成30年12月7日

★札幌保健医療大学保健医療学部看護学科

「発達障害の基本的な知識、患者理解とケア」 鈴木大輔

平成30年12月15日

★札幌保健医療大学保健医療学部看護学科

「退院時病室清掃のマニュアル作成の試み～感染管理ペストプラクティスを活用して～」 安田直美

御案内 第8回日本精神科医学会学術大会

期日：平成31(2019)年7月4日（木）～5日（金）

会場：札幌コンベンションセンター

「現在から未来へつなぐ精神科医療一北の大地からのチャレンジと創造」

をテーマに活発に議論して戴きます。ヴァーチャルハルシネーション、ADHD、セデーション、老化体験コーナーなども充実させ、学生はもちろん、現役の皆様まで実際的で楽しく学べる企画もあります。是非、ご参加下さい。当院理事長中島公博が実行委員長の大役を担っております。

患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

- 1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
- 2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
- 3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
- 4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
- 5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
- 6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
- 7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

最近の精神科医療政策のご紹介

★外国人労働者の受入れ拡大

平成30年秋の臨時国会の最重要法案と位置付けられている出入国管理法改正案が議論されています。人手不足の分野に広く門戸を開放する法改正を行い、来年4月の施行を目指すとしています。改正案では、外国人労働者の新たな在留資格を設け、建設、介護、農業などの分野での受け入れ拡大をねらっています。具体的には、相当程度の知識や経験をもつ外国人向けに「特定技能1号」、より熟練した技能をもつ外国人用に「特定技能2号」の在留資格を創設し、1号の在留上限は5年で家族帯同は認めず、所定の試験に合格して2号に移行すると家族帯同を認められ上限なく在留期間が更新でき、潜在的な永住への道が開けることになっています。

現行法制では、日本で働くことができる外国人は留学生（アルバイト）、技能実習生、医師などの高度人材に限定されています。高齢化に伴う生産年齢人口の減少に苦しむ多くの企業が歓迎する一方、専門家の間では労働市場の効率化を抑制するとの意見もあります。日本商工会議所が6月に実施した調査では、企業の3分の2が労働者が不足していると答え、労働需給のひっ迫は深刻化しているのだそうです。確かに、東京に行けばコンビニやホテルの清掃員はほとんどが外国人で占めているところもあります。医療関係でも、介護士やヘルパーは人手不足が深刻で残された職員が疲弊してうつ状態になり、当院に受診される方も多くいます。外国人労働者の受入れは世の流れなのかもしれません。

★措置入院に関するガイドラインマニュアル作成

平成30年3月27日に「措置入院の運用に関するガイドライン」及び「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」が厚生労働省から示されました。北海道では、本ガイドラインを運用するにあたり、本業務に携わる者が、ガイドラインの基本的な事項や解釈などについて、考え方を共有することにより、道内において統一かつ効果的な運用が図られることを目的として、マニュアル整備が進められています。ガイドラインは、平成28年7月に起きた相模原障害者施設殺傷事件を契機に措置入院の在り方が議論され、精神保健福祉法の改正を念頭に作成されたものです。患者さんの多くの方は、余り関係ないものかもしれませんが、自傷他害の恐れを要件とする精神障害者の方は少なからずおりますので、制度の運用については、病院職員十分な理解を深めて行こうと思っています。なお、札幌市においてもガイドラインに準拠した整備を行うとのことです。

当院は患者さん本位の医療を提供しようと

考えております。

お気づきの点はお相談下さい。

治療のご協力をお願い

現在、当院では「統合失調症」「小児・思春期うつ病」に対する薬剤の臨床試験を行っています。創薬（薬を創りだす）は国家戦略の一部です。臨床試験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。今後、AD/HDの試験も予定しています。詳しく知りたい方は主治医にご相談下さい。

統合失調症

典型的な症状は幻聴と妄想です。最近では主治医から病名の告知もなされています。かつてのような不治の病ではありません。適切な薬物療法が必須です。

また、18歳までの年齢で、統合失調症と診断されている患者さんの治療を実施しています。未成年の場合、親御さんの同意が必要です。

うつ病（小児・思春期）

抑うつ気分、興味喜びの喪失感等の症状があればうつ病の診断になります。18歳未満の方が対象です。

五稜会病院 概要

標榜科名：精神科・心療内科・内科・消化器科

病床数	193床
急性期病棟	48床
ストレスケア・思春期病棟	48床
療養病棟A	49床
療養病棟B	48床

従業員数 約200名

医師数	常勤 7名	非常勤	10名
看護師	84名		
薬剤師	2.5名		
臨床検査技師	2名	非常勤	2名
臨床心理士	8名	非常勤	4名
作業療法士	9名	音楽療法士	1名
精神保健福祉士	10名		

五稜会病院沿革

開設	昭和47年（1972年）
医療法人開設	平成2年（1996年）

編集後記

今年の札幌市での平地の初雪は11月20日。初雪統計で、1890年と並んで観測史上最も遅い記録だそうです。着実な地球温暖化の影響でしょうか。このまま雪が積もらなければいいのですが・・・(K.N)

発行：平成30年11月25日

〒002-8029

札幌市北区篠路9条6丁目2-3



発行責任者：広報委員 今井佐千子・広瀬慎一

電話：011-771-5660

http://www.goryokai.com

mail：GMC@goryokai.com

GMC Art Collection 2018



11月10日(土)、当院主催での、アール・ブリュット作品の展覧会『GMC Art Collection2018』が開催されました。アール・ブリュット (art brut) という言葉は、フランス語で「生の芸術」を意味するものとされており、正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存の芸術のモードに影響を受けていない絵画や造形のことです。

アール・ブリュットは、世間一般には「障害者の芸術」という意味で考えられてしまいがちですが、これは大きな誤解で、アーティストに障害があるかどうかといった属性ではなく、その作品そのものに表せられるアーティストの生命によって生まれるものと考えられています。



今回の展覧会の作者は、外来通院されている方々、入院されている方々、当院スタッフとで40を超える作品を展示し、150名を超える方々に来場していただきました。ご協力していただいた皆様に感謝申し上げますとともに、これからも、このような機会を設けていきたいとかがえております。今後ともよろしくお願いいたします。

(精神看護専門看護師 : 鈴木 大輔)



第23回日本ストレスケア病棟研究会



平成30年10月13日、広島で行われた第23回日本ストレスケア病棟研究会に当院から3名が参加しました。日本ストレスケア病棟研究会は、うつ病を中心としたストレス関連疾患に対して、治療を行う病棟を持つ病院による研究会です。全国では当院を含め22施設が所属しています。当日は17施設総勢130名前後の参加がありました。

内容は、事務局である草津病院の概要とストレスケア病棟の治療システムについてのお話や、瀬戸内を望める施設見学、シンポジウム「ストレスケア病棟への入院を増加させ、退院後の地域生活向上にどう取り組むか?」の他、事例検討が行われました。多職種による職域を超えた意見交換や議論が活発に行われ、各病院の工夫や実践を学ぶことができました。この学会の学びをより良い治療に活かしていきたいと思っております。

(医療相談室 : 高橋 眞子)

北海道胆振東部地震

平成30年9月6日(木)午前3時7分、北海道胆振地方中東部を震源として地震が発生しました。最大深度は、震度階級で最も高い震度7が厚真町で観測されました。震度7は北海道では初めてのことです。

今回の地震は、揺れも大きいものでしたが、なんといっても日本で初めての北海道全域における大停電、ブラックアウトによる被害を引き起こしました。当院でも、職員が身動きがとれないなか、自家用車やタクシーは動いていますから、患者さんは来院し、緊急入院もありました。入院患者の食事、水はどうするのかなど頭を悩ませました。

停電になれば、エレベーターはストップ、くみ上げ式の水道であれば断水になってしまいます。停電は、地震に限らず、台風や落雷等でも起こります。日頃からの対策、準備が必要だと痛感しました。

(理事長 : 中島 公博)



〈当院医局の様子〉

家族会のご案内

平成30年10月~12月 家族会のご案内

夏の終わりとともに、草花も秋色に衣替えを始めています。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、2018年10月・11月・12月に各家族会を下記の通り開催致しますので、ご案内申し上げます。

家族会は、ご本人の病気や対応について、困っていることや対応の仕方などを学び、共に分かち合うご家族のための会です。参加は無料です。下記日程からお好きな会へご参加頂けます。参加回数も自由です。皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

【統合失調症を対象としたご家族の会】
 場所：外来4階集約療法室 時間：15:00~16:30
 ●10月26日(金) 「礼家連について」
 礼家連とは、札幌市が運営する家族会の団体です。今回は担当の方に来院していただき、一緒に茶話会を行います。
 ●11月30日(金) 「お薬について」 薬剤師を招いて、お薬について意見交換します。
 ●12月の家族会はお休みです。

【思春期・青年期家族会】
 ※主に10~20代のお子様をお持ちのご家族を対象
 場所：外来4階集約療法室 時間：14:00~15:00
 ●10月27日(土) 『本人の行動を理解するヒント』
 「本人の行動は何かのサイン?」「本人なりの理由があるの行動?」など、ご本人の行動をどう理解したらいいに困ったことはありませんか?ご本人の行動を理解するヒントについて紹介したいと思います。
 ●11月24日(土) 「茶話会」
 ●12月の家族会はお休みです。

【病気の勉強会】
 病気の理解や特徴を講義形式で深めていくような会です。
 場所：外来4階集約療法室 時間：14:00~15:30
 ●11月10日(土) 「家族の体験を共有する会」

*会場がわかりにくい場合は、外来受付へお声かけ下さい。
 *家族会に関するご質問等がありましたら、お気軽に下記連絡先へどうぞ。
 五稜会病院 011-771-5660(担当: 外来看護師工藤)

当院では、ご家族自身がより自分らしく暮らしていけることを目的に家族会を行っています。皆さんで病気や治療、回復について理解を深め、病気や対応法について共に学び、知識を深める場としています。当院では、内容により3つのグループで実施しており、お好きな会にご参加頂けます。

内容は、茶話会を初め心理士や薬剤師からのお話、ご家族や当事者の体験を語る会等様々なテーマで行っています。

他人には言えない困りごとで悩んでいる、他のご家族の話を聞きたい、息抜きをしたい等のご家族がいましたら、お気軽にご参加ください。参加は無料です

詳しいご案内は外来ロビーにございます。家族会に関するご質問等がありましたら下記までお問い合わせください。

担当： 外来看護師 工藤
 精神看護専門看護師 鈴木 大輔